

大栄不が公募社債

40億円、低金利で調達

埼玉県が地盤の大栄不の影響で社債の発行環境が良好なことから起債を日、公募無担保社債の発行条件を決めた。19日払い込みで3年債を25億円、7年債を15億円発行する。非上場の不動産会社が公募社債を発行するのは異例。事業基盤が安定していることに加え、日銀のマイナス金利政策

の影響で社債の発行環境が良好なことから起債を決めた。2014年9月に続き2回目。前は30億円を調達し、利率は1・2%だった。石村等社長は「低金利政策の影響で調達コストはさらに下がっている。少しでも利ざやが得られる社債は投資家の需要も見込める」と語る。

大栄不動産の17年3月

期の連結売上高は273億円。埼玉や東京でオフィスビルや駐車場の運営、企業団地の造成などを手がける。大型マンション開発も活発化させているほか、JR大宮駅（さいたま市）東口の再開発にも参加している。